

平成28年度

事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

平成28年度 事業報告書

【平成28年度の環境認識】

当財団は、平成元年10月設立後28年目を迎え公益移行後5年目が終了しました。平成28年度の国内経済は、7~9月期の国内総生産が前年比プラス0.5%と3四半期連続のプラス成長となり、景気は緩やかな回復が続いている。円高・株安の進行や天候不順の影響から個人消費が2四半期連続で小幅な伸びにとどまったほか、民間企業設備も前期比横ばいにとどまるなど、内需は停滞感が残るものの、輸出の持ち直しが景気を押し上げている。先行きについて、個人消費は、雇用・所得環境の改善や物価上昇率が低位にとどまることを背景に、緩やかに持ち直しそう。住宅投資は、金利の低水準が続いていることから増勢が続き、設備投資は、足元で円高進行が一服していることで企業マインドが持ち直し、小幅ながら増加すると思われる。公共投資は、8月に成立した平成28年度2次補正予算による大型経済対策の効果が年度末にかけて徐々に現れはじめ、景気を下支えしよう。輸出は、海外経済の回復が続くことが見込まれ、緩やかに持ち直し、これらのことから国内経済は、引き続き緩やかな回復軌道をたどるとみられる。

現状の北海道経済は、8月に相次いで上陸した台風による天候不良などを受け一時的に景況感が悪化したものの、緩やかに持ち直している。個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、底堅い動きが続いている。今後を展望すると、個人消費は、雇用・所得環境の改善から持ち直し基調が続き、住宅投資は、金利低下や所得の改善により、堅調な推移が続こう。設備投資は、年度後半にかけて企業の投資マインドがさらに高まり、公共投資は、補正予算の執行や台風被害の復旧工事の本格化により、前年を上回り観光関連では、外国人観光客や国内客の増勢が続き、好調が続くとみられる。

【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマラゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

〈事業報告〉

I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業1）

（1）助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指す28年目の支援事業の取り組みを行いました。

福祉住宅として、新築及びリフォームした建築主を対象とした建築助成事業に新築が5件・リフォームが7件の合計12件の応募申請がありました。菊地理事を審査委員長として、大阪理事、西代評議員、小西評議員の他、外部審査委員4名、計8名の有識者による審査委員会において厳正な審査の結果、総額300万円の予算内助成総額210万円（累計7,086万円）を助成金として給付を行いました。

（2）情報誌「ふれあい」の刊行

情報誌「ふれあい」は、福祉住宅助成建築主へ直接取材をさせて頂き、日常生活の現状や介護面の参考となる事例集を数多く掲載、毎年継続し年1回の発行をしています。賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く無料配布させて頂き、また、講演会での参考資料等に、あるいは病院・リハビリテーションの理学療法士の方々の資料とさせて頂くなど数多くの皆様に役立たせて頂きました。平成28年度は、3,000部を発行し幅広く利用しました。また、いままでの助成金対象者の事例集を再度見直し総集編第二弾の作成を計画しております。

II. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業2）

（1）小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストの実施

平成28年度で21回目となったコンテストは、高齢者や障がい者も家庭はもとより外出先においても、快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生を対象に募集したところ24校で昨年より8校増え、個人で1件の応募があり合計948名と数多くの児童生徒さんからの応募がありました。今回は昨年より1件少ない応募数でしたが応募学校が増え関心のある先生方が協力的と思われまます。

少子高齢化等による小中学校の統合や廃校が毎年続く中、学校全体で応募して頂けるケースが目立ちました。毎年4月上旬に全道の小中学校にポスター・応募要項等お送りしました。

平成28年度も審査委員長の大阪理事に、二日間かけて審査を行って頂き各審査員菊地理事、西代評議員の他、外部審査委員4名の計7名の有識者による審査委員会を実施し、厳正な審査の結果、71名の各賞を決定しました。

当財団の冊子「ウィズライフ 第45号」と北海道新聞での新聞記事等による掲載、札幌地下街「オーロラコーナー」での3日間の展示、及び応募学校には入賞者結果発表報告を行い、より多くの人に啓発事業を知って頂くことができました。

(2) 広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションを推進している人の対談やインタビューの他、福祉機器や設備など役立つ情報を紹介する同誌を年2回、計6,000部（2回×3,000部）発行。当財団の冊子「ふれあい」と同様、賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布し、また、講演会の資料として、数多くの地域の皆様に役立つことができました。

平成28年度の「ウィズライフ（共に生きる）第44号」では、テーマ「楽に安心して介助を受ける」介助のキーワードは、「楽で安心」それを支えるのが住宅改修と福祉用具です。「介助を必要とする人の側に立って……」と理学療養士岡田さんと「役立つ物づくり……を」と、福祉用具の開発・製造・販売に携わる池田さんとの対談記事。疑似体験キット「まなび体」を開発、誰にでも起こり得る障がいの危機を「他人事」から「自分事」へと当事者の気持ちになって頂き、自分がその立場を体験してみても、体験レポートを紹介しております。

Ⅲ. 福祉事情事業

（福祉事情の視察）

当財団が設立以来毎年実施している福祉研修視察は、平成28年度は石川・愛知方面の福祉事情を視察計画しました。視察先は石川県金沢から愛知県名古屋の11月27日～30日の4日間で、各理事・評議員・賛助会会員の皆様から参加者を応募し総勢8名の団員で実行いたしました。計画を立てるにあたり、日程や各施設先スケジュールや施設側の事情もあり、断られたところも多かったです。

今回、最初の施設見学は、石川県の新しい「共生のまち」づくり「シェア金沢」。安倍総理も視察され、TVでも取り上げられるほど見学者が多く、月には50～60組程、見学が多く「希望に応じられない」と一度はお断りされたが、何とか再度チャレンジし見学させて頂いた。

「シェア金沢」は施設キャンパスの中に「まち」の暮らし（天然温泉にレストラン、売店、喫茶、たまり場、バー等と高齢者住宅、下区政住宅）を配置し独自の街づくりグッドデザイン賞、石川景観大賞、医療福祉建築賞など各種受賞された「まちづくり」の施設でした。

3日目は名古屋市内から1時間ほどのところに特別養護老人ホーム「せんねん村矢曾根」を視察。入所者は120名ほどで3階建て2棟の施設に10人当たり4～5人の

職員が配置され、きめ細やで思いやりいっぱいの配慮がされた施設。地域密着型の認知症者が対象のデイ倶楽部、ショートステイ施設、ケアプランセンターほかに地域の小学生が下校後に高齢者と同じ空間で過ごす学童保育が同一建物内に併設している。

4日目は、帰りの中部国際空港へ向かう途中、半田市の社会福祉法人「むそう」を視察。乳幼児から高齢者までライフサイクルに沿った暮らしを支援、障がいのある方が共同で生活。もっとも力を入れているのは「働き」と「住まい」。自分らしく暮らすための十分な配慮がされた施設を視察。帰社後、参加者全員に報告レポートを書いて頂き研修報告書（平成28年度石川・愛知ノーマラゼーション福祉研修報告書）を作成し、関係機関先等へ配布しました。

今後も継続して福祉向上に役立つ情報の収集と提供を行っていきます。

IV. 拠出金・協賛金・セミナー事業

（福祉関連事業への取り組み）

諸団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、平成28年度は「日本赤十字社へ活動資金の寄付協力」、「国境なき医師団」、「北海道難病連への募金」、「北海道盲導犬協会に支援寄付」等々数多くの支援継続を行いました。

また、毎年道内各地で行われている北海道新聞社主催の「マイホーム教室」または、他セミナーの後援団体に参考資料として冊子などを提供いたしました。

「マイホーム教室」のセミナーでは、今後の福祉住宅や住環境のあり方について西代評議員・川本理事に講演して頂き、安全、安心、快適な生活について等、これからの住まい造りなどをお話して頂き、多くの皆様に役立つことができました。

V. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進するため、公共の場所でのポスターの掲示や一般紙、地方紙、業界紙による紹介記事の掲載に努めるとともに、コミュニティラジオ「FMアップル」に出演し「ノーマライゼーション住宅財団の事業について」紹介しております。

VI. 賛助会員及び寄付について

【平成28年度 賛助会員状況】

*平成29年3月末日現在 [個人会員146名・法人会員61社 計207名]

《 理事会 》

*第1回 理事会

- 1、日 時 平成 28 年 5 月 12 日(木曜日) 午後 1 時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目
- 3、決議事項 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告の承認について
第 2 号議案 平成 27 年度決算報告及び監査報告の承認について
第 3 号議案 評議員 12 名及び監事 2 名の任期満了の承認について
- 4、報告事項 代表理事・副理事長の職務の執行の状況の報告

*臨時理事会の書面決議「評議員会の招集の決定」

評議員会の決議があったものとするみなされた事項の内容

平成 28 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

日時：平成 29 年 3 月 7 日（火）午後 1 時から

会場：ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂の間

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

(2) 議案

第 1 号議案：平成 28 年度収支補正予算

第 2 号議案：平成 29 年度事業計画及び収支予算

(3) 報告事項

1、理事会・副理事長の執行の状況の報告

理事会の決議があったものとみなした日

平成 29 年 2 月 14 日（火曜日）

*第2回 理事会

- 1、日 時 平成 29 年 3 月 7 日(火曜日)午前 11 時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

3、議案

- 第1号議案 『平成28年度収支補正予算』の件
- 第2号議案 『平成29年度事業計画及び収支予算』の件
- 第3号議案 『評議員会の招集』の件

4、報告事項

- 1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告
- 2、第21回小中学生による「安全・快適アイデア・コンテスト」結果報告
- 3、平成28年度「福祉住宅建築助成支援事業」結果報告
- 4、新任評議員の追加と臨時評議員会の書面決議において行う旨の報告

《 評議員会 》

*第1回 定時評議員会

- 1、日時 平成28年6月6日(月曜日) 午後1時から
- 2、場所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目
- 3、決議事項
 - 第1号議案『平成27年度決算報告及び監査報告』について
 - 第2号議案『評議員12名及び監事2名の任期満了に伴う選任』について
- 4、報告事項
 - 1、『平成27』年度事業報告』の件
 - 2、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

*第2回 定時評議員会

- 1、日時 平成29年3月7日(火曜日) 午後1時から
- 2、場所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂
札幌市中央区北1条西6丁目

3、議 案

- 第 1 号議案 『議長及び議事録署名人の選出』の件
- 第 2 号議案 『平成 28 年度 収支補正予算』の件
- 第 3 号議案 『平成 29 年度 事業計画及び収支予算』の件

4、報告事項

- 1、理事長・副理事長の職務の執行の状況報告
- 2、第 20 回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト結果報告
- 3、平成 27 年度『福祉住宅建築助成支援事業』結果報告
- 4、新任評議員の追加を臨時評議員会の書面決議において行う旨の報告

以上